

公表

児童発達支援 事業所における自己評価総括表

令和7年度 すくすく塾 新保

○事業所名	すくすく塾 新保		
○保護者評価実施期間	令和8年 3月 10日		～ 令和8年 3月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	令和8年 4月 1日		～ 令和8年 4月 11日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 4月 19日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様の支援時間の内、完全個別対応の支援時間を確保しています。部屋も独立した構造になっていて、集中できる環境になっています。	お子様やご家庭の課題やニーズにより、オンラインの支援計画に基づいている為、毎回、お子様の現状の課題に沿った的確なアプローチを取り入れることで、抵抗感があったこと、出来なかったことに対して、「出来る」「やってみたい」に変わっていく姿が多くみられています。	AIを導入し、脳科学から導き出されたアセスメントにより、5領域のうち必要な課題を的確な内容で支援に組み込むことで、保護者から見た課題、児発管、担当職員から見えてきた課題、AIから導き出された課題を総合的に支援に取り組んでいます。
2	保育士、児童支援員、社会福祉士、作業療法士、教員免許等の多種多様の専門の職員構成になっており、それぞれの専門性を生かして、チームで支援を行っています。		
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の建物の構造が、二階建てで個室化されているので、運動する際や、利用人数により十分な広さが確保しにくい状況です。	運動面では、省スペースでも活動できる内容の物を選んだり、近くに広くて安全な公園があるので、公園を利用してのびのびと遊べる様になっています。	ねらいと目的により、さらなる工夫をしていきます。
2	保護者同士の情報交換や交流の場の提供が出来ていない状況です。	事業所内のスペースが区切られて独立した部屋しかない為、会場や時間の確保に苦慮しています。	近隣の施設を利用を検討しています。
3	地域との交流の場が持ちにくい状況です。	保護者様がご要望になられていない為もありますが地域の中に適切な受け入れ先もない状況です。。	